



# 上尾ロータリークラブ



2020-2021年度R.I.テーマ  
ロータリーは機会の扉を開く



2020-2021年度 宇多村海見会長

## 第2845回 例会 2020. 10. 1

### 会長あいさつ

週報 No.2150  
発行 2020年 10月 8日

2020-2021年度  
会長 宇多村海見  
幹事 深澤 圭司  
副会長 斎藤 修弘  
副幹事 長沼 大策  
編集責任者・公共イメージ向上委員会  
委員長 坂 佳三

ゲスト  
2020 学年度  
ロータリー米山記念奨学生  
トウ シンヨウ  
修 針叶 さん

- 行事予定
- 10月15日 部門セミナー報告④  
社会奉仕/職業奉仕
  - 10月22日 上尾市とYahoo!の  
防災連携について  
上尾市危機管理防災課
  - 10月29日 クラブフォーラム  
会員増強維持意見交換会

皆さん、こんにちは。齋藤哲雄SAAからもご案内いただきましたように、十五夜ということで、すすきを受付ご用意していただきましたので、例会後にお持ち帰りいただけたらと思います。

さて、あれだけ暑かった夏も過ぎ、最近の朝晩肌寒くなって秋らしくなってきました。芸術の秋、スポーツの秋とありますが、本日は読書の秋ということで、本の一節を題材に、言葉の表現についてお話しさせていただきます。歴史小説、特に幕末がお好きな方はご存じだと思いますが、題材は、司馬遼太郎著の『花神（かしん）』です。幕末、維新を目指す長州・薩摩藩側から見た青春群像とも言える作品で、大村益次郎の生涯を描いています。大村益次郎は靖国神社参道に大きめの銅像が建っていて、一説によるとその銅像は彰義隊・幕府軍との決戦があった上野の山の方を向いていると言われ、その銅像の人物です。小説中ではもとの村田蔵六という名で登場しています。大阪の、緒方洪庵が開いた適塾で学んで、文久3年（1863年）、緒方洪庵のお通夜の席で福沢諭吉と言い争う場面を引用いたします。

——この五月十日以来、長州藩は下関沿岸砲台に戦闘命令をくだし、海峡を通過する外国艦船を砲撃しはじめたのである。五月十日には米船、同二十三日には仏艦、同二十五日は蘭艦をそれぞれ砲撃し、にわかには日本をめぐる国際環境が緊張しはじめたのである。福沢は、それをいっている。「村田君も、あぶない藩に仕えたものだ」(略)「村田は鉄砲玉にあたりやしないか」(略)「あの攘夷の真っ盛り村田がその中によびこまれては身があぶない。どうか怪我のないようにしたいものだ、寄るとさわると噂をしている」(お通夜の席で福沢が村田に)「どうだ、馬関(下関)のあの騒ぎはなにをするつもりか、攘夷るいどもにかかっちゃ、あきれかえって物がいえないじゃないか」というと、蔵六の瞬きが、急にとまった。福沢の記憶ではこのとき蔵六は怒気を発したらしい。「なにが攘夷るいだ」と、蔵六は福沢の顔を見てひらき直った。「攘夷のどこがまちがっている」(略)「われわれはオランダの恩は受けている。しかしそのオランダでさえ、英米仏の大国の尻馬に乗って横



ROTARY CLUB OF AGEO

柄きわまりない。それを打ち攘うのは当然であり、防長(周防・長崎、長州藩のこと)の士民はことごとく死に尽しても許しはせぬ、どこまでもやる」といったから、福沢はいよいよ驚いた。——

明治に向かうところ、村田蔵六は軍事・武力をうまく西洋から取り入れて維新を成し遂げていくわけです。福沢諭吉はそうではなく、英米から取り入れた学問・教育でその後の日本を切り拓く・・・どちらも近代日本に導く役割を果たしたのですが、同じ適塾出身である二人が、違う道を歩んでいき、こんな言い争いをするのがたいへん興味深いです。

今日、私がお伝えしたいのは言い争いが面白いという話ではありません。先ほど引用した一節は私の体が中学生になった時に買い与えた改訂を重ねた本の文章で、私が昔買った文庫本で読んだ文章と一部が違っていました。古い本では、お通夜の席で福沢が村田にいうセリフが「どうだ、馬関(下関)のあの騒ぎはなにをするつもりか、気遣いどもにかかっちゃ、あきれかえって～」となり、また蔵六の回答は「なにが気遣いだ」「攘夷のどこが気遣いだ」となっていました。先に読んだ新しい版は、おそらく司馬遼太郎没後に改訂したものだと思われる。

教科書ではなく小説ですので、文明の最先端である外国艦船に、性能の劣った大砲で砲撃する様子の精神状態を、司馬遼太郎は侍たちの狂気を「気遣い」という言葉で表したのだらうと思います。名監督の映画の中に不適切な表現があっても勝手にカットされないでしようし、有名な画家が描いた絵画の中に不適切な部分があってもその部分は勝手に切り取られることはないと思います。それらを鑑みますと、小説も芸術ですので、ポリティカル・コレクトネスによって表現が変えられるのは、果たしてあっていいものかどうかと思ったりもします。政治的公平性や政治的に正しいかと言われるが、それが弱者に対する本当の思いやりなのか、それとも表現を改めて簡便にしているのとは全く違うと思います。

私たちにも馴染みのある「障がい者作品展示即売会」の文字も、いつしか「害」の字が平仮名になっていました。これを思いやりととるのか、それともポリ・コレによる配慮なのか、ちょっと私

にはわかりませんが、ただ、言葉の持つ力をきちんと考えずに一般的なものにしてしまうと、かえって物事の真実から遠ざかってしまうことも有り得るのではないかなと思っています。そういう環境の中で、たとえば子どもたちが言葉の意味を深く知らされずに使われてしまうことに、一個人としてもロータリアンとしても危惧しています。ロータリーの奉仕の中に青少年奉仕もありますので、正しい国語の重みを子どもたちに伝えていく役割として、果たして何ができるだろうかということも考えたりもします。会長あいさつは以上です。本日もよろしくお願ひいたします。

### 幹事報告

深澤 圭司幹事

次週10月8日、理事会の時間を30分ほど超過する予定です。宇多村会長の提案事項がありますので、理事の方、よろしくお願ひいたします。



### 委員長報告

会員選考委員会 久保田照委員長

先週、入会申込書をいただき、会員選考委員会を開催しました。細心の注意を払い、適格性等を考慮して、理事会に提出させていただきます。よろしくお願ひいたします。



### ロータリー米山記念奨学金授与

2020 学年度 ロータリー米山記念奨学生 修針叶さん

皆さん、こんにちは。先日卒業論文を書き始めましたが、プレッシャーがかかったことから、気分転換のためにジグソーパズルを買いました。毎日寝る前に少しずつピースをはめていくつもりでしたが、昨夜はパズルを始めたらずまらなくなり、睡眠時間が短くなり、朝起きたら疲



れていました。だから気分転換に夜パズルをするのはお勧めできません。来週は幸手RCさんに卓話にお訪ねします。がんばってきます。

### 例会主題

#### 部門セミナー報告③

米山記念奨学委員会 樋口 雅之委員長

9月26日(土)に米山部門セミナーが、ZOOMにて二部制で行われました。10月が米山月間①ということで、皆さんのお手元にロータリー米山記念奨学事業「互辞典」が配布されていると思います。そちらもご覧いただきながら報告をお聞きください。

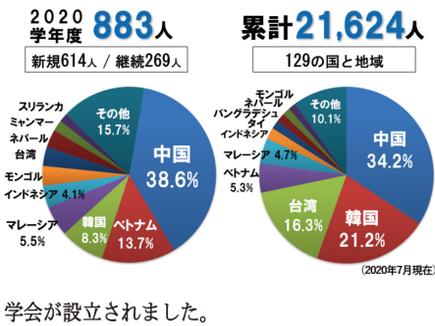


まずは米山記念奨学事業の概要について説明がありました。米山記念奨学事業はR.Iが行っているものではなく、日本のロータリー独自の事業です。日本で学ぶ外国人留学生を支援するということが、最大の特徴は「世話クラブ・カウンセラー制度」となっています。これは「親善・交流を通じた国際理解」を推進し、将来、奨学生には日本と母国の架け橋になってほしいという思いからなるもので、一般の奨学制度は公的なものも民間のものも、世話クラブやカウンセラーなどはほぼありません。

事業の沿革ですが、米山梅吉さんが創った事業とよく勘違いされるのですが、そうではありません。戦後、米山梅吉氏(1920年東京RC設立・初代会長)の功績を永遠に偲ぶような、何か有益な事業をやろうという声で戦後大きくなり、ロータリー財団奨学金が非常に良い結果を出しているという事から奨学事業の気運が高まり、海外からの留学生を個人的に支援していた米山梅吉氏の名を冠する事業として設立されたものです。

1946年米山梅吉氏逝去後、1949年に日本のロータリーが国際ロータリーへ復帰し、1952年に東京RC・古沢文作会長が「米山基金」の構想を発表しました。これは、アジアから優秀な学生を招いて学費を援助し、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために「平和日本」を肌で感じてもらいたい、というものでした。1957年に日本全国の協同組織となり、1967年に財団法人ロータリー米山記念奨

### 国内最大級の奨学生数



学会が設立されました。

さて、2020学年年度の米山記念奨学生人数が日本全国で883名いらっしゃいます。国別の内訳は、本年度も累計でも中国の方がいばばん多いです。それで累計では世界129の国と地域から21,624名の方をこれまで支援してきました。累計では中国、韓国、台湾の方が多いですが、最近ではベトナムからの学生が急増しており、本年度ではベトナムの方が2番目に多くなっています。

当地区の主な米山奨学事業は、7月は富士登山(本年中止)、8月はカウンセラー研修、9月は学友会主催・合同奉仕活動(本年中止)、10月は米山月間各クラブでの奨学生卓話(本年度1/3に激減)、11月は地区大会へ参加、12月は感謝の集い、1月は奨学生選考試験、3月は第二米山月間各クラブでの奨学生卓話、そして修了式となります。以降、2021年度の奨学生としてカウンセラーの初顔合わせがあり、入学式、学友会主催のバス旅行(主に米山記念館)となります。

次に奨学生・クラブの選考についてお話しします。選考の過程では、まず米山記念奨学会が全国の地区への学生の人数割当てを決めます。これは各地区の寄付実績で毎年人数が変わります。その後、地区の中で学生を選考して、世話クラブを選考するという3段階の選考があります。各地区への奨学生の割当てについてですが、過去2年の寄付金総額が50%の評定を占めます。単純に人数が多くて寄付金総額が多い地区がやや有利になります。

地区での奨学生の選考では、「将来の目標・留学の目的」がきちんとしているかどうかや、交流への熱意があるかどうか、人柄の良さ、コミュニ

ケーション能力などを重視し、面接等を行って選考します。例えば学生さんの母国での経済状況や家庭状況は全く加味されず、その学生さん本人の熱意や人柄を重視するところです。面接試験を行ってから、全国での得点のばらつきによる誤差を回避するため、得点を偏差値に換算して奨学会の定めた配分に従って割り付け、不公平を正していきます。また出身国や出身大学に偏りが出ないよう地区裁量点を使って調整します。

当地区では奨学生27名に対して、50以上のクラブの申込があり、なるべく多くのクラブが世話クラブになる機会を与えられるよう、世話クラブを選考します。世話クラブの選考でも不公平がないように、寄付額・寄付率・過去2年の実績等を偏差値と係数でスコアを算出して決めています。人数が多くて寄付額が多いクラブだけが有利にならないよう、人数が少ないクラブにも機会を与えられるよう考慮されています。

たとえば当クラブは個人平均寄付額は毎年おかげさまでクリアしています。ただし寄付者割合という、会員数に占める寄付者の人数がなかなか上がってこないで、極端な話でお一人千円でも結構ですのでご協力いただくと寄付者率が上がり、世話クラブの選考の際にプラスになる場合もありますのでご協力をお願いしたいと思います。あとは法人寄付という制度もあるのでぜひご検討いただきたいと思っています。

第一部の後半は、寄付平均額が日本でトップの第2590地区(神奈川)川崎西RCの米山記念奨学委員会委員長・斎藤正彦様と、当地区・工藤部門委員長とでディスカッションをされました。ZOOMの音声は聞こえない不具合があり、ちょっとそれが残念でした。以上で第一部のセミナー報告とさせていただきます。

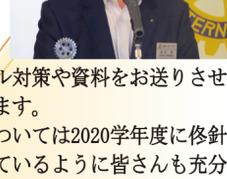
### 小田切 宏治会員

第二部もZOOMでのセミナーで興味深く参加させていただきました。印象に残ったのは、学生さんの選考基準についてです。私は諸外国の貧困にある方を救済する制度という思い込みがありましたが、そうではなくて、学習内容や活動、学友・ロータリアンとのコミュニケーション能力が評価される基準なんだと知ったことです。ロータリーの奨学事業を改めて感じたセミナーでした。



### 地区 米山記念奨学友選考委員会 島村健委員長

今回は設置側で参加しました。ZOOMのかなり大きなトラブルがあり聞きづらく、ご迷惑をおかけしました。現在、原因を調査しています。今後、トラブル対策や資料をお送りさせていただきます。よろしくお願ひいたします。



米山記念奨学事業については2020学年年度に修針叶さんが来てくださっているように皆さんも充分承知だと思いますが、いばばんは、寄付をぜひお願いしたいということです。多くの寄付が集まりますと、毎年奨学生を受け入れることができます。全国で寄付額は、人数が多い第2590地区が1位ですが、平均寄付額は全国2~3位をキープしたいと思っています。皆さま、ご協力をお願いいたします。

米山記念奨学部門の  
セミナー報告 ありがとうございます。

出席率	
会員数	37
出席数	25
欠席数	12
67.57%	



### スマイル

- 細野会員 お久しぶりです。
  - 長沼副幹事 須田直前会長、新店オープン、おめでとうございます。
  - 坂会員 結婚祝い、ありがとうございます。
- 宇多村会長/深澤幹事/岡野会員/小林会員/村岡会員/尾花会員/  
大木保司会員/大塚崇行会員/島村会員/藤村会員/齋藤哲雄会員/  
樋口会員/小田切会員/丹井会員/大木崇寛会員/奥川会員/関口良康会員

例会日 毎週木曜日 12:30~13:30 事務所 〒362-0035 埼玉県上尾市仲町1-8-31 新和エクセルビル303  
例会場 東武バケットホール4F(ポリアス) TEL 048-775-7788 / FAX 048-776-9799

